

科 目 名(Subject)	行政法研究（発展） （Administrative Law （advanced））		
単 位 数(Credits)	2 単位	開講時期	後期
担当教員名 (Name)	齋藤 健一郎 (SAITO Kenichiro)	研究室番号 (Office)	518
Office Hours	随時(事前にメールで連絡をすること)		

1. 授業目的・方法(Course objective and method)

行政法研究（基本）では、行政法の“発展的”論点を取り上げて、調査、深い理解、批判的・多角的な分析を行うとともに、各論点につき現代的な意義を考えることを目的とする。

演習形式で、行政法の学術文献を読み進める。受講者は、文献を読み、レジュメを作成し、報告を行う。その上で、教員も交えて、質疑・議論を行う。

2. 達成目標(Course Goals)

行政法の“発展的”論点について理解をするとともに、批判的・多角的に分析できるようになる。

3. 授業内容(Course contents)

第1週～第15 週 報告・議論

*授業内容の詳細（報告者や文献の箇所など）は、履修者数が確定した後に決め、掲示もしくは履修者全員にメールで連絡をする。

4. 事前学修・事後学修(Preparation and review)

(事前学修)

文献を読む。受講者は全員、質問事項や各自の考えを manaba で記入すること。

報告者は文献の内容についてのレジュメを作成する。

報告者は、論文中の参考文献をできる限り調べること。

(事後学修)

授業時の議論内容を踏まえて、文献を読み直す。

報告者は、可能であればレジュメを修正する。

5. 使用教材(Teaching materials)

現代行政法講座 第1巻 現代行政法の基礎理論
第2巻 行政手続と行政救済
第3巻 （近刊）
第4巻 自治体争訟・情報公開争訟

*コピーを配付する。

*上記は論文集なので、その中の発展的・応用的な内容の論文を選び、報告・議論をする。

6. 成績評価の方法(Grading)

授業への参加度（質疑・議論の様子）、報告内容（50%）
レポートの内容（50%）。

7. 成績評価の基準(Grading Criteria)

秀（100～90）：①文献の内容を過不足なく要約でき、②議論において批判的な検討および主張ができ、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができていない場合。

優（89～80）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析および自身の説得的な主張ができていない場合。

良（79～70）：上記①～②の何れかを満たし、かつ、③レポートにおいて、批判的・多角的な分析のみが

できているか、または自身の主張のみができている場合。

可（69～60）：上記①～②の何れかを満たすが、③レポートの内容が不十分な場合。

不可（59～0）：上記①～②を何れも満たしていない場合、または、③レポートの内容が不十分な場合。

8. 履修上の注意事項(Remarks)

履修を希望する場合には、履修登録の期限前までに齋藤にメールで連絡をして下さい。